

ボネコ ハイブリッド型 加熱超音波式加湿器

型式番号 **2300A**

家庭用

取扱説明書

特長



Made in KOREA

■ 寝室に最適な加熱超音波式加湿器

超音波振動で水を霧状にしてお部屋を加湿します。音が非常に静かで、寝室でお使いいただくのに最適です。また、ヒーターをオンにすると霧の温度は送風孔付近で約 40℃、冬期でもお部屋の室温を下げません。しかも無風ですので、お部屋のホコリが舞い上がりにくい加湿器です。

■ ヒーターで素早くお部屋を加湿

ヒーターで水を加熱することにより加湿量が増加し、素早くお部屋を加湿します。

■ 水分中のカルキを除去

水道水のカルキを除去するイオン交換樹脂カートリッジ*付きで、従来の超音波式加湿器の問題点であった白い粉の発生を抑えます。

* 1 シーズンに 1 度交換が必要です。

■ 3つの雑菌抑制システムを搭載

(詳しくは 4 ページ参照)

- ・ シルバースティック (銀イオンの作用で、水中の雑菌の繁殖を抑制します)
- ・ ヒーター (水を約 80℃まで加熱して、雑菌の繁殖を抑制します)
- ・ 超音波振動 (超音波の振動で細菌の飛散を抑えます)

■ ノブ式の無段階調節

お好みに合わせて、加湿レベルおよび湿度を無段階調節できます。

このたびは、ボネコ ハイブリッド型加熱超音波式加湿器をお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1～3
知っておいていただきたいこと	4
開梱時のご注意	4
各部の名称とはたらき	5～6
使用手順	7～9
イオン交換樹脂カートリッジについて	10
お手入れのしかた	11～12
故障かな?と思ったら	13
仕様	13
別売品のお求めについて	14
真心点検について	14
アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」、または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



：禁止



：分解禁止



：水ぬれ禁止



：ぬれ手禁止



：風呂・シャワー室での使用禁止



：指示を守る



：電源プラグを抜く

警告

電源／コンセントについて

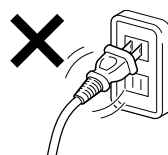


電源は交流100V (50/60Hz)で「15A 125V」と記されているコンセントからとる

15A 125V



取付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取付けの悪い(ガタツキのある)コンセントや差込み口(刃受)のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



電源プラグ／電源コードについて



変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)に、交換を依頼してください。



電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。



電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



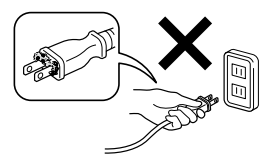
電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
運転中に電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は直ちに電源を切り(＝運転中止)、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。そのまま使用するとショートや発火する恐れがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



動作中に電源プラグを抜き差ししない
運転中に電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。



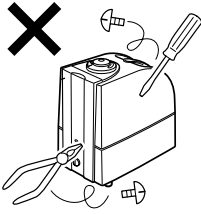
運転の際は電源コードを解き、余っても束ねない
熱の逃げ場がなくなって高温になり、発火する恐れがあります。



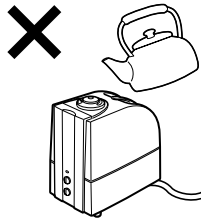
コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格容量を超えると、発熱による火災の原因になります。

使用中／使用後について

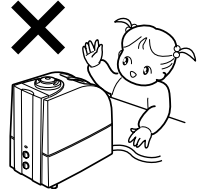
❌ 本製品を分解したり、改造をしない
故障や発火の恐れがあります。



❌ 送風孔や吹出し口から絶対に給水
しない
故障や感電の原因となります。



❌ お子様だけでは使わせない。幼児
の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。



❌ 運転中に超音波振動プレートには触れない
感電の危険があります。

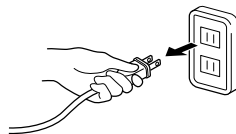
❌ 送風孔から噴霧される霧は吸入しない
健康を害する恐れがあります。

運転中について

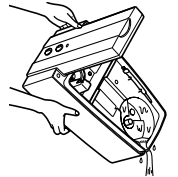
❗ 異常が生じた場合は、使用を中止する
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご連絡ください。

お手入れについて

❗ お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く
感電・ケガの原因になります。



❗ 排水の際は右図のように排水する
排水の方向を誤ると本体内部の電
気部品に水が入り火災・感電・ショ
ートの原因となります。



⚠️ 注意

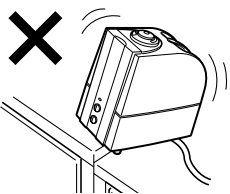
電源プラグ／電源コードについて

❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。

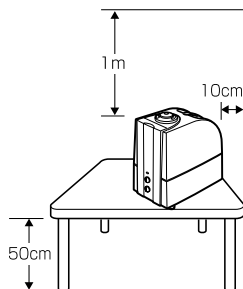


設置場所について

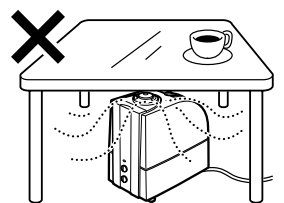
❗ 平らで安定した場所に置いて
使用する
不安定な場所におくと、本製品
が転倒し、けがや故障の原因と
なります。



❗ 天井から1m、壁から10cm、
床から50cm以上離して設置す
る
床に置いて設置すると水滴がた
まる場合があります。



❌ テーブルや机の下で使用し
ない
送風孔の上をふさぐと、霧
(湿った空気)が部屋中に
行き渡りません。また、故
障の原因となります。



❌ 電気製品やパソコン・精密機械の近くでは使用しない
機器の故障を引き起こす場合があります。

❌ 送風孔を壁面に向けない
霧にあたり続けると、壁紙をいためる恐れがあります。

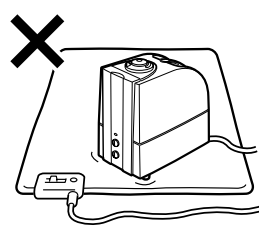
❌ ストーブなどの暖房器と併用するときは、暖房器の温
風が直接当たる場所には置かない
故障の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

濡れた場所の上に置かない
本体底面のセンサーが誤作動を起こす恐れがあります。

屋外や湿気の多い場所(部屋)、浴室、特殊な環境で使わない
ショートや感電の恐れがあります。また、硫黄などの硫化ガスが発生する場所や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。

テレビ、ステレオ、電気カーペットなど電気製品の上で使用しない
水がこぼれると故障や感電の危険があります。



使用中／使用後について

本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する
感電・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り(＝運転中止)、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご連絡ください。

小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う
運転中および運転していないときもお子様加湿器のそばにいるときは大人の方が付き添ってください。

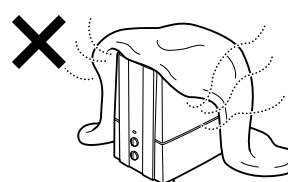
長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐために抜いてください。

本製品を、他の用途や屋外で使用しない
この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使用すると、けがや故障の原因となります。

給水後は、必ず給水タンクの外側に付いた水滴を布きなどで拭き取る
故障や感電の原因となります。

送風孔を外したまま運転しない
故障の原因となります。

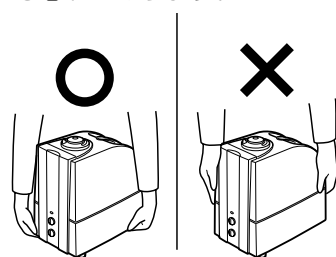
本製品に腰掛けたり、物を乗せない
けがや故障の原因となります。



給水タンクには水道水を入れる
断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水などを使用すると、故障の原因となります。

イオン交換樹脂カートリッジを使わずに運転しない
カルキの白い粉が飛散する恐れがあります。

運ぶときは本体の底を持つ
給水タンクを持つと、本体が落下し、けがや故障の原因となります。



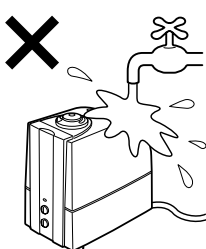
運転中に給水タンクを外さない
水が飛び散る恐れがあります。

運転中について

本体や操作パネルに水やジュースをこぼさない
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご連絡ください。

お手入れについて

本体や、電源コード、電源プラグを水につけたり、水洗いしない
故障や感電の原因になります。



クレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない

お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付ける
各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因となります。

シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこすらない
抗菌効果が損なわれる原因となります。

塩素系、酸性およびアルカリ性洗剤は使用しない
各部品が傷ついたりする恐れがあります。

一週間以上使用しない場合は、必ず給水タンクと水槽の水を捨てる
この際イオン交換樹脂カートリッジも取り外して乾かしてください。水が残ったまま放置しておくこと異臭や故障の原因となります。

知っておいていただきたいこと

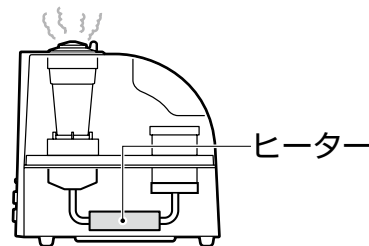
加湿のしくみと主な特長をご理解いただき、本製品をより効果的にご使用ください。

この加湿器は“加熱＋超音波式”です

- 節電運転：超音波振動により水を霧化させ、室内を加湿します。(消費電力 40W)
- スピード加湿運転：内部ヒーターで水を約 80℃まで加熱し、加湿を促進させます。ヒーターは切ることも可能です。(消費電力 40 + 90 = 130W)

《ご参考》

ヒーターをオンにしてから、15～20 分で超音波振動による霧が暖かく（約 40℃）なります。



雑菌抑制システムを採用しています

※下記データに関しては、デロンギ・ジャパン(株)までお問い合わせください。

●シルバースティック

水槽内にシルバースティックを設置し、銀イオンの作用で、水中の雑菌の繁殖を抑制します。

シルバースティックの抗菌性能試験結果

試験菌名	抗菌効率
レジオネラ菌	99.5%
インフルエンザウィルス	99.6%

(財団法人 北里環境科学センター調べ)

●ヒーター（オン時）

内部ヒーターで水を約 80℃まで加熱し、水中の菌の繁殖を抑制します。

試験菌名	除去率
大腸菌	99.7%

(財団法人 北里環境科学センター調べ)

●振動

超音波振動により、水中の菌の飛散を93.3%抑えます。(オーストリア・エンゲル研究所調べ)

やけどの心配がない設計です

超音波式（スチーム式加湿器のように熱い蒸気が発生しません）ですので、やけどの心配がありません（ヒーターオン時の霧の温度は約 40℃です）。

設置場所について

安全かつ効率良く加湿するために、以下のような場所に設置してください。

- 水平で安定した台の上
- 送風孔から出る霧をさえぎるような物がないところ

水滴や結露を防止するため、以下のような場所で使用することをおすすめします。

- 天井から 1m 以上離す
- 壁や窓から 10cm 以上離す
- 床から 50cm 以上離す

※送風孔は 2 口で、それぞれ 360°可変式です。
設置場所に応じて自在に向きを変えられます。

⊘ 次の場所では使用しないでください

- 送風孔から出る霧が、電気製品・パソコン・精密機器・家具・カーテン・天井などに直接あたるところ、およびその近く
- 磁気の多いところ
- 毛足の長いカーペットやふとんなどの上
- 水などで濡れたものの上
- エアコンなどの風が直接あたる場所（床が濡れる恐れがあります）
- ガスコンロのそば（炎が赤くなる場合があります）

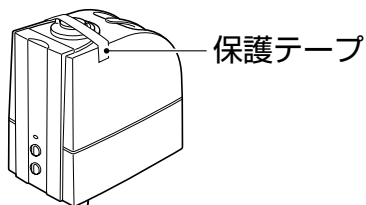
湿度センサーが誤動作する恐れがあります

開梱時のご注意

製品を箱から出したら、以下の点を確認してください。

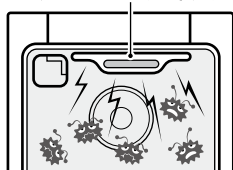
保護テープを外しましたか？

送風孔に貼ってある保護テープを取り外してください。



シルバースティックが取り付けられていますか？

シルバースティック



シルバースティックが水槽内の手前側に取り付けられていることを確認してください。銀の特性で、シルバースティックがやや黒ずむ場合がありますが、性能／機能には問題ありません。安心してご使用ください。



注意

変色部分を紙やすりや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれます。

各部の名称とはたらき

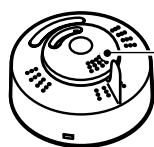
給水タンク

吹出し口 ●
湿気を含んだ霧が通り、送風孔へ流れます。

❌ ここから給水しないでください。水がこぼれて故障の原因となります。

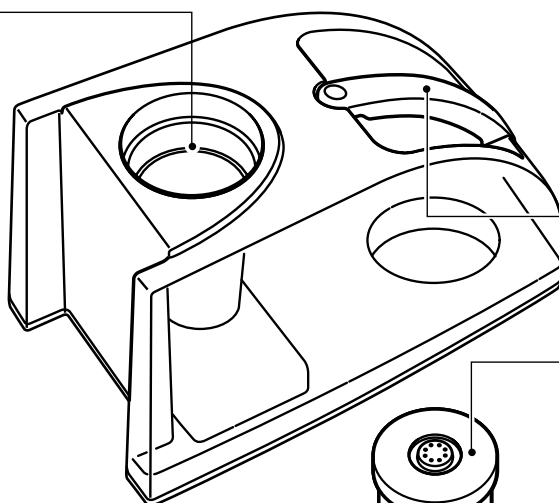
イオン交換樹脂カートリッジについて

水道水中のカルキ分の飛散を抑えるため、イオン交換樹脂入りのカートリッジを搭載しています。しかし、まれに水道水中のカルキが多いと、取りきれない場合があります。その際は、弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。



●送風孔

ここから湿気を含んだ霧が出ます。上下2段階それぞれに360°回転させて風向きを変えることができます。給水時には必ず取り外してください。給水タンクが逆さになり、落下して割れる場合があります。



●取っ手

給水タンクを運ぶときに持ちます。

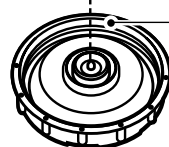
●イオン交換樹脂カートリッジ

カルキが飛散するのを防ぎます（10ページ参照）。※カートリッジのふたは開きません。



●給水タンクふた

給水は、ふたにカートリッジを付けたままの状態で行えます。



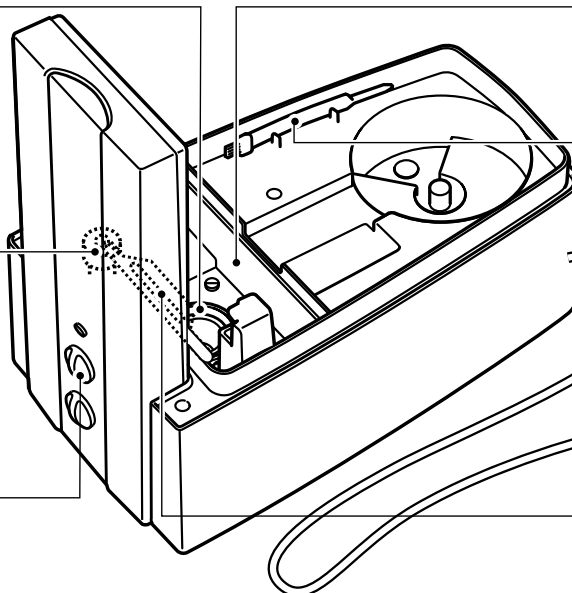
本 体

超音波振動プレート

⚡ 感電注意
運転中は触れないでください。感電の恐れがあります。

水量センサー ●
水の残量が少なくなるとセンサーが働き、運転を停止します。給水ランプは赤色に点灯します（右ページ参照）。

操作パネル ●
お好みの湿度や加湿レベルを設定できます（右ページ参照）。



●水 槽

給水タンクからの水がたまります。

●お手入れブラシ

水槽内および超音波振動プレートのお手入れのときに使用します（12ページ参照）。

●電源コード

●プラグ

●シルバースティック

銀イオンの作用で、水中の雑菌の繁殖を抑制します（4ページ参照）。

使い始めの水の着色について

新しい「イオン交換樹脂カートリッジ」の使い始めに極微粒のイオン交換樹脂により、水槽内の水が薄茶色になる場合がございますが、機能・安全上の問題はございません。給水タンク満水の量で数回給水を行う間に色がなくなります。

給水タンクおよび本体の水跡について

出荷前試験の際に水を使用しているため、給水タンクおよび本体内部に水滴、または水滴が乾燥した白い跡が残っている場合があります。機能・性能には影響しませんので、柔らかい布などで拭き取った後、ご使用ください。

操作パネル

電源ランプ／給水ランプ●

電源のオン／オフの状態や、給水が必要になったことを色でお知らせします。

黄緑ランプ点灯：電源が入っています。
赤ランプ点灯：給水を行ってください。
消灯：電源が切れています。

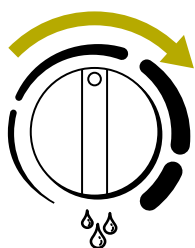
湿度設定ノブ●

好みの湿度（目安）を設定します。
センサーが周辺湿度を感知し、設定した湿度を保つように運転します。

※適湿範囲については 8 ページ参照

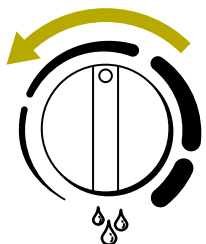
時計回り

湿度が高くなります。



反時計回り

湿度が低くなります。



強制加湿 ※

時計回りいっぱいに戻すと、お部屋の湿度に関係なく、加湿を続けます。

※加湿のし過ぎにはご注意ください。



●ヒーター電源オンランプ

ヒーターに電源が入っているときにオレンジ色に点灯します。

●ヒーター電源オン/オフボタン

ヒーターに電源を入れると、内部で水を約 80℃まで加熱し、すばやくお部屋を加湿します。
ヒーターオン時の霧の温度は約 40℃です。

●電源ノブ／加湿レベル設定ノブ

電源のオン／オフや加湿レベルを設定します。

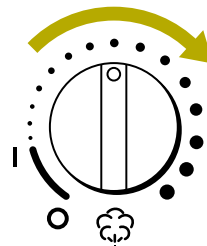
○：電源が切れます。

I：電源が入ります。

電源が入ると、上の電源ランプが黄緑色に点灯します。
(このとき、超音波振動による霧が発生し、加湿が始まります。)

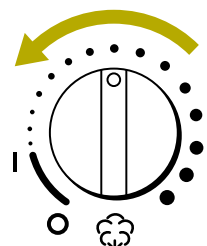
時計回り

加湿レベルが上がり、加湿量が増えます(霧の量が増えます)。



反時計回り

加湿レベルが下がり、加湿量が減ります(霧の量が減ります)。

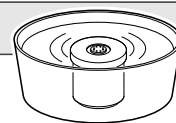


使用手順

●ご使用前に

本製品をご使用になるときは、以下の準備を行ってください。

新しいイオン交換樹脂カートリッジをあらかじめ 10 ～ 15 分、水につけておく。



1 給水タンクに水を入れ、本体にセットする

- ① 給水タンクを持ち、送風孔を外す
送風孔を落とすと割れる恐れがあります。

※水滴注意

タンク下部には水滴がついています。給水時は、水槽の上で水滴を振り落としてから、持ち上げてください。

- ② 給水タンクを上下逆さにし、給水タンクふたを開け、水道水を注ぐ

反時計回り：開ける

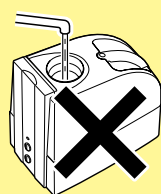
- ③ 給水タンクふたをしっかりと締める

※水を入れすぎると、イオン交換樹脂カートリッジを入れた際に、水がこぼれ出す恐れがあります。

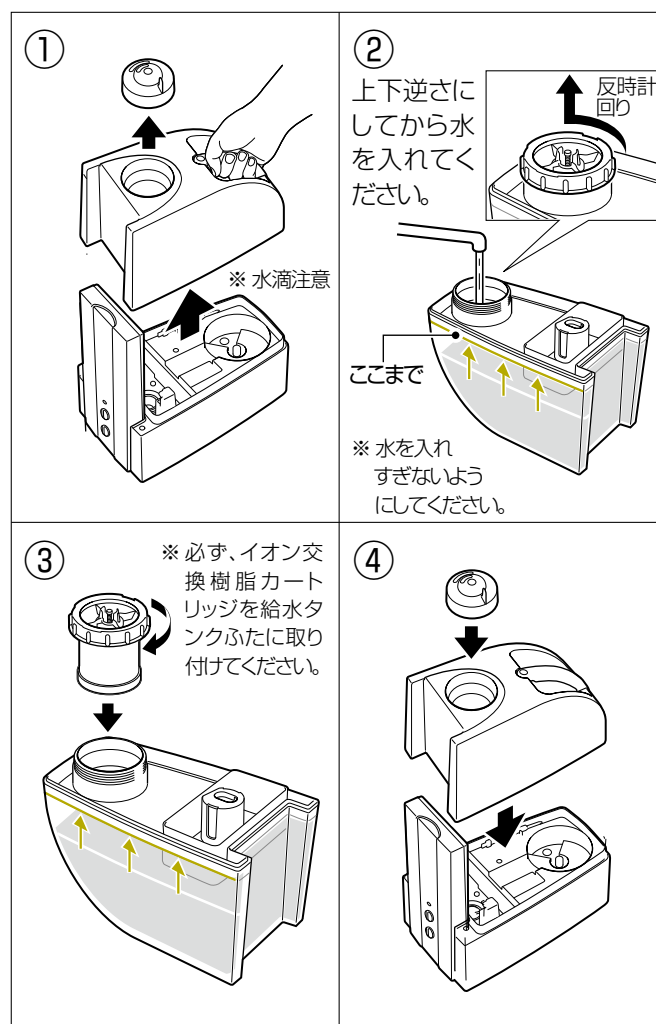


- ④ 給水タンクを本体にセットし、送風孔を取り付ける

※送風孔を壁面に向けないでください。霧にあたり続けると、壁紙を傷める恐れがあります。



- 赤水、井戸水は使わないでください。
- 給水タンク上面の吹出し口から水を入れないでください。水がこぼれてしまいます。また、水がイオン交換樹脂カートリッジを通らないため、カルキの白い粉が飛散する恐れがあります。
- アロマエッセンス等は入れないでください。



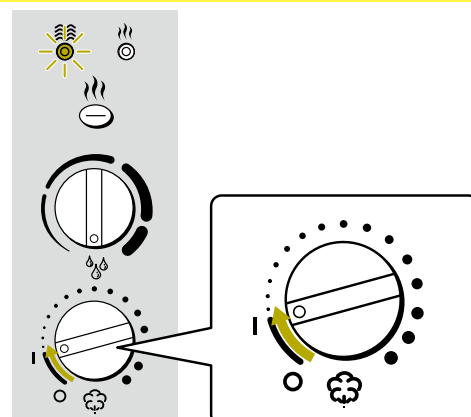
2 プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

- ① プラグをコンセントにしっかり差し込む
- ② 電源ノブ／加湿レベル設定ノブを時計回りに回し、電源を入れる

ヒント



使用中は給水タンクの水量をチェックし、少なくなったら給水してください。給水タンクを満水にした場合(4.75L)は、加湿レベルを最大で運転した際、約10時間の連続加湿が可能です。

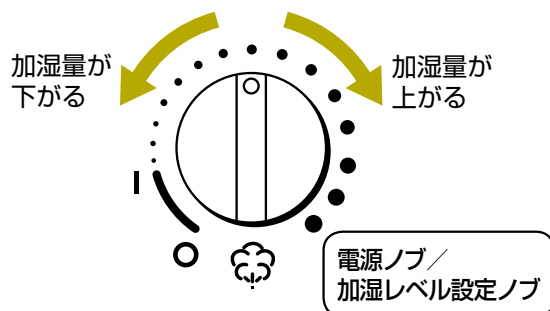


3 加湿レベルを調整する

お好みに応じて、加湿レベルを調整します。

時計回り 加湿レベルが上がります(霧の量が増えます)。

反時計回り 加湿レベルが下がります(霧の量が減ります)。



4 湿度を設定する

お好みに応じて、湿度(目安)を設定します。

時計回り

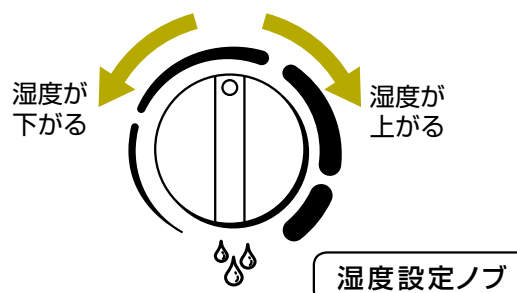
湿度が上がります。

反時計回り

湿度が下がります。

お部屋の湿度が設定した湿度よりも高くなると、自動的に運転が止まります。また、湿度が下がった場合は、自動的に運転を再開します。

※設定した湿度よりも部屋の湿度が高い場合は、電源を入れても加湿されません。



適湿範囲

湿度設定ノブを右図の範囲内にセットすると、湿度が40～60%(目安)にセットされます。

ヒント お部屋の広さ、気温等の条件により、同じセット位置でも湿度が変化しますので、湿度計をお使いいただくと便利です。



霧が出すぎて過加湿状態になったら

お部屋の湿度状態にかかわらず水分を放出できる能力を持っておりますので、お部屋が霧で充満、もしくは床に水滴が付着することがあります。

これは過加湿状態ですので、直ちに加湿レベル設定ノブで加湿レベルを下げるか、運転を一時休止してください。

強制加湿について

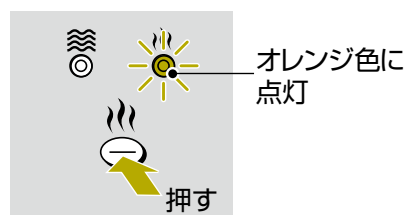
時計回りいっぱいノブを回すと、お部屋の湿度に関係なく、強制的に加湿を続けます。

※加湿のし過ぎにご注意ください。



ヒーターを入れる

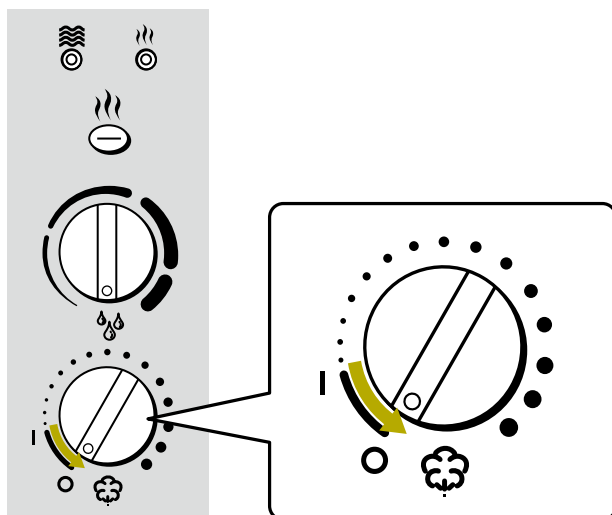
ヒーター電源オン/オフボタンを押してヒーターを入れると、15～20分で冷たい霧が暖かい霧(約40℃)になります。このとき、ヒーター電源オンランプがオレンジ色に点灯します。



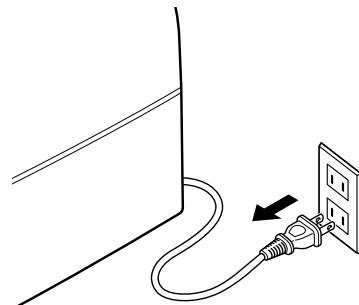
5 停止する／電源を切る

① 電源ノブ／加湿レベル設定ノブを反時計回りに○の位置まで戻す

電源ランプ（黄緑色）が消灯します。
（ヒーターを入れている場合はヒーターランプも消灯します）



② プラグをコンセントから抜く



⚠ 注意

一週間以上使用しないときは、必ず給水タンクと水槽の水を捨て、次回は新しい水で加湿してください。

続けてご使用になる場合は、「給水タンクに水を入れ、本体にセットする」(7 ページ)の手順で水を入れてください。

※本体から給水タンクを外したときに水滴が落ちますのでご注意ください。

給水タンクの水が少なくなると…

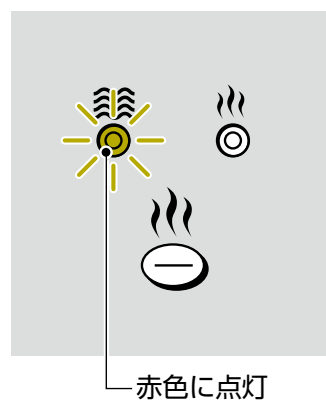
水槽内のセンサーが感知して、電源ランプ／給水ランプが赤色に点灯し、運転を停止します。
電源をオフにしてから、給水を行ってください。

給水タンクに水を入れたのに赤ランプがつく…

これは、給水タンク内の水がカートリッジを通過し、水槽に水がたまるまで少し時間がかかる(2～4分)ためです。水がたまると自動的に加湿を始めます。

水が薄茶色になる場合

新しいカートリッジを使用した際に水が薄茶色になる場合がありますが、故障ではありません。給水タンク満水の量で数回給水を行うと徐々に色はなくなります(5 ページ参照)。



適用畳数について

お部屋を効率良く加湿するために、右記の適用畳数を目安に使用してください。

適用畳数の範囲で使用していても、お部屋の状態や外気の乾燥の程度によっては、湿度が上がりにくいことがあります。

お部屋の種類	適用畳数
木造和室	7 畳
プレハブ洋室	11 畳

イオン交換樹脂カートリッジについて

超音波式加湿器のしくみは、振動板による超音波微振動で水を微粒子にして空気中に素早く拡散させ、加湿を行うものです。このため、お客様がお住まいの地域の上水道によっては、イオン交換樹脂カートリッジを透過しても、加湿器の周りの壁や家具に白い粉が付く場合があります。これは、上水道に含まれるカルシウムやマグネシウムなどにミネラル分が多いため、有害な物質ではありません。その際は、弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。

⚠ 注意 精密機械（主にリモコンなどの光学系精密機械）などに送風孔からの霧を当て続けたり、過加湿状態（8ページ参照）で使用し続けると、故障の原因となりますので、ご注意ください。

●イオン交換樹脂カートリッジの交換時期

使用頻度や水質にもよりますが、1シーズン（使用期間：約3～4か月）を目安に新品と交換してください。新品のカートリッジは、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご注文ください。

カートリッジの交換手順

- ① 使用前に、新しいカートリッジをあらかじめ10～15分水に浸けておく
- ② 給水タンクから古いカートリッジを取り外す
- ③ 給水タンクふたを取り外す
- ④ カートリッジを交換する

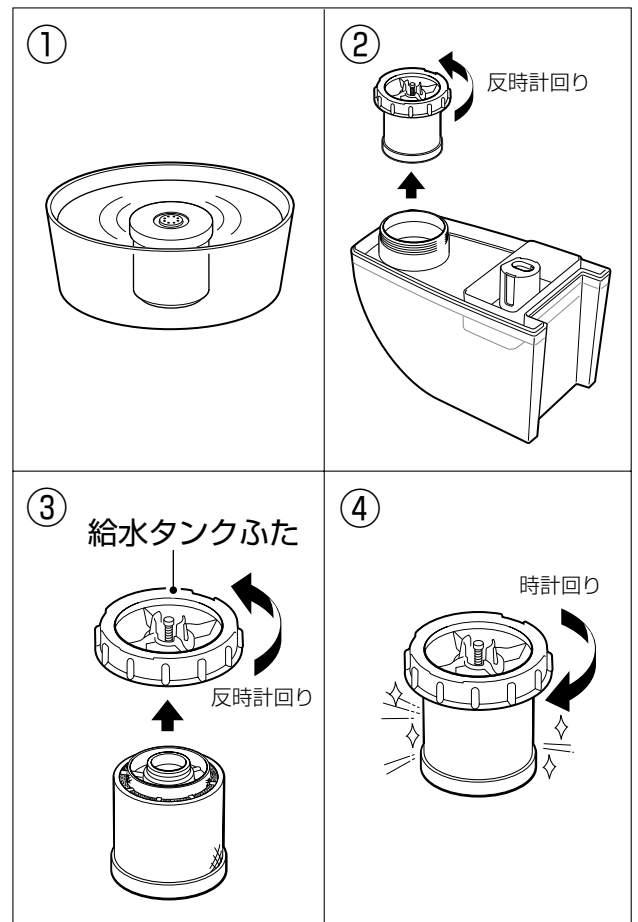
給水タンクふたを古いカートリッジから取り外し、新しいカートリッジと交換します。

給水タンクに給水タンクふたを取り付ければ、交換完了です。

※使用したカートリッジを保管し、翌シーズンに使用することはおやめください。

異臭などの原因となることがあります。

※使用済みカートリッジは、各地方自治体の指導に従って廃棄してください。



お手入れのしかた

汚れ具合にもよりますが、定期的にお手入れをしてください。また、シーズンオフには、必ずお手入れをしてから保管してください。

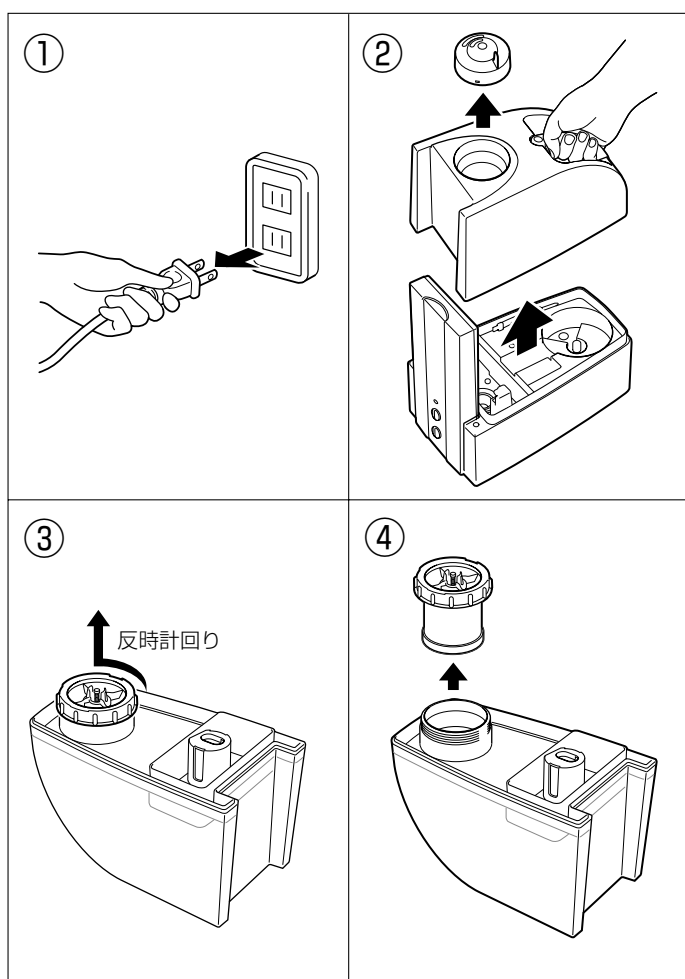


注意

- プラグは必ずコンセントから抜いてください。
- クレンザー(研磨剤)やベンジン、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。
- 食器洗い機は、使用しないでください。高温で変形する恐れがあります。

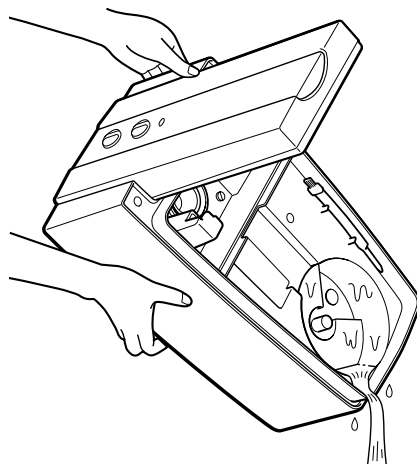
給水タンクの排水

- ① プラグをコンセントから抜く
- ② 本体から給水タンクを外し、送風孔を取りはずす
- ③ 給水タンクふたを開ける
- ④ イオン交換樹脂カートリッジを給水タンクから外し、残水を排水する



本体の排水

- ① プラグをコンセントから抜く
- ② 本体から給水タンクを外す
- ③ 本体を図の方向に傾けて排水する



警告 必ず図のようにして排水してください。操作パネルやプラグが水に濡れると、故障や火災・感電・ショートの原因となります。

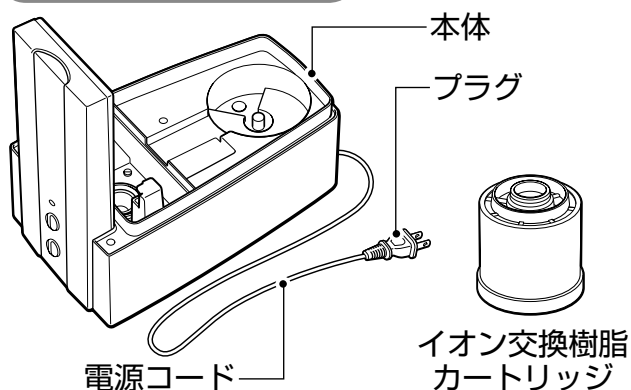
※ 1週間以上ご使用にならない場合は排水を行ってください。

この際、イオン交換樹脂カートリッジを取り外して乾かしてください。

保管する場合は…

お手入れ後、各部が完全に乾いてから組み立て、製品の入っていた元箱に戻し（またはカバーなどをして）、乾燥した場所に保管してください。

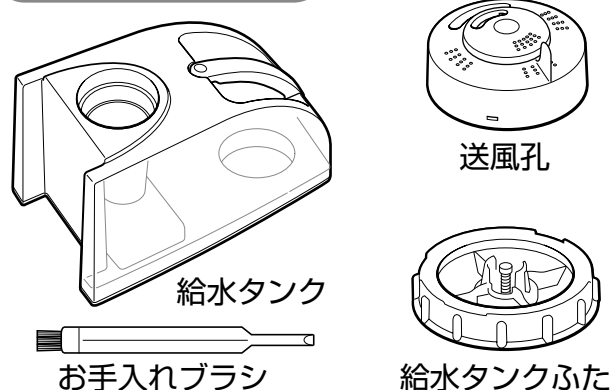
水洗いできないもの



- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

➡ 操作パネルを水で濡らさないでください。故障の原因となります。

水洗いできるもの



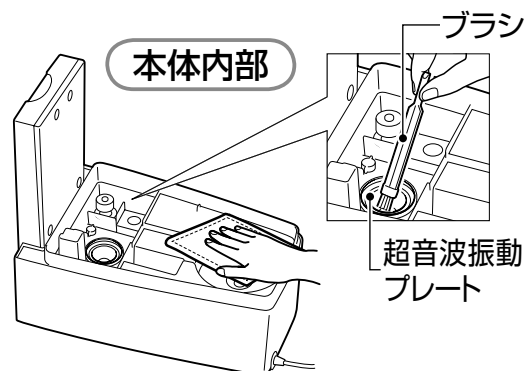
- 柔らかいスポンジと台所用中性洗剤で水洗いします。

※シルバースティックのお手入れは下記参照。

➡ 本体への取り付けは、完全に乾いてからにしてください。

本体の水槽部のお手入れ

- 水を含ませた柔らかい布で水槽の内側に付着した汚れを拭き取ってください。
- 超音波振動プレートの表面にカルキ分などの白い粉が付着する場合があります。付属のブラシを軽くあてて落とした後、水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

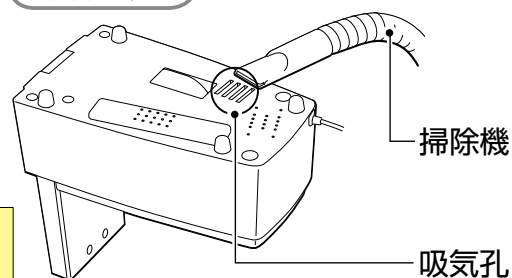


吸気孔のお手入れ

- 本体底面にある吸気孔の周りにゴミなどが入っていないか確認し、ある場合は取り除いてください。
- 吸気孔に付いたホコリは、掃除機で吸い取ってください。

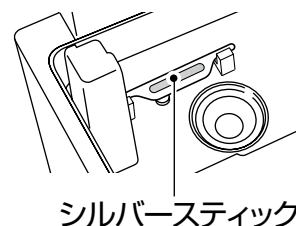
⚠ 注意 ホコリが付いた状態では湿度設定が正確に働かない恐れがあります。

本体底面



シルバースティックのお手入れ

- 付着しているホコリやゴミを、水道水で洗い流してください。使用していくうちに銀の特性でメッシュ部分が黒ずむ場合がありますが、性能には影響しません（約5～6年使用できます）。



⚠ 注意 変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、下記をもう一度チェックしてみてください。それでも異常があるときは、修理をご依頼ください(裏表紙参照)。ご自分での分解／修理／改造はおやめください。

状 態	考えられる原因	対処のしかた
1. 加湿されない	給水タンクや水槽内の水がなくなった	⇒ 給水タンクに給水してください。(7ページ参照)
	カートリッジが汚れている	⇒ 新しいカートリッジに交換してください。(10 ページ参照)
	超音波振動プレートが消耗した	⇒ 修理を依頼してください。(裏表紙参照)
2. 霧が出すぎる	強制加湿になっているため、お部屋の湿度状態にかかわらず加湿している	⇒ 湿度設定ノブを適湿範囲内にセットしてください。(8 ページ参照)
3. 水が漏れる	給水タンクふたが締まっていない	⇒ 給水タンクふたをしっかりと締めてください。
	本製品を平らな場所に置いていない	⇒ 本製品を平らで安定した場所に置いてください。
4. 水槽に出てきた水が薄茶色になる	使い始めのカートリッジから極微粒のイオン交換樹脂が出るため(機能・安全上の問題はございません)	⇒ 給水タンク満水の量で数回給水を行う間になくなります。(5 ページ参照)
5. 白い粉が出る	お使いの水道水の中に含まれるミネラル成分が多すぎるために発生している	⇒ 弊社サービスセンターにご相談ください。(裏表紙参照)
6. 動作音がうるさい	超音波振動音や給水タンクの水が減るときのポコポコ音	⇒ 本体を足元などに移動してください。寝室使用の場合、枕元に置いて使用する必要はありません。

仕 様

製 品 名 称		ボネコ ハイブリッド型 加熱超音波式加湿器
型 式 番 号		2300A
定 格	電 圧	交流 100V
	周 波 数	50/60Hz
	消 費 電 力	40W (ヒーター切) / 130W (ヒーター入)
適 用 畳 数		木造和室 7 畳／プレハブ洋室 11 畳
加 湿 能 力		最大 395 / 410mL / 時 (50/60Hz)
タンク・水槽の容量		5L (給水タンク：4.75L、水槽：0.25L)
付 属 品		イオン交換樹脂カートリッジ、シルバースティック、お手入れブラシ
外 形 寸 法 / 質 量		幅 190 × 奥行 340 × 高さ 335mm / 約 3.65kg
材 質		・本体 / ABS ・給水タンク / SAN、ABS

別売品のお求めについて

本製品購入販売店、または弊社サービスセンター(裏表紙参照)にてお求めください。

ボネコ加熱超音波式加湿器 2300A 用イオン交換樹脂カートリッジ

イオン交換樹脂カートリッジの寿命は1シーズン(3～4ヶ月)です。シーズン初めには、必ず新しいカートリッジをお求めください。

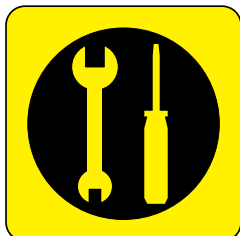
- 型番 PL-DMC
- 価格(消費税込み)1,575円(本体価格1,500円、消費税75円、送料別)

シルバースティック

シルバースティックの寿命は約5～6年です。汚れ等が気になる方は、新しいものと交換してください。

- 型番 PL-SMSN
- 価格(消費税込み)3,360円(本体価格3,200円、消費税160円、送料別)

真心点検について



長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検のご依頼方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンター(裏表紙参照)までお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日： 年 月 日

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



アフターサービスについて

1)使用中に異常(★)が生じた場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、13ページ「故障かな?と思ったら」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。

—★以下のような場合には、点検および修理が必要です—

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・操作パネルや本体に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター(下記参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。

※お送り先については、事前にお電話(下記参照)あるいはホームページ(<http://support.delonghi.co.jp>)にてご確認ください。

3)保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)補修用性能部品の保有期間について

弊社では、この加湿器の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5)デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※お送り先については、事前にお電話あるいはホームページ(<http://support.delonghi.co.jp>)にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶ (受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00)

● コールセンター

修理について……………Tel. 0120-804-280

Tel. 0120-692-885

お問い合わせ……………Tel. 0120-064-300

Tel. 0120-692-880

／ Fax. 045-450-3291

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ(URL)——<http://support.delonghi.co.jp>



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル

www.delonghi.co.jp イタリアのライフスタイル情報満載! 会員登録でプレゼントのチャンスも!